

アンケート概要

- アンケート名称 2023年度以降の駐車場使用禁止方針を巡るアンケート
- 実施期間 2022年7月19日（火） ～ 2022年7月29日（金）
- 実施方法 組合WEBサイト アンケート
- 総回答数 137
- 回答率 47.2% (時点組合員数：290名)
- 設問
 1. 身分を選択ください
 2. 氏名
 3. 所属（課、科）
 4. 現在の主たる通勤手段をご回答ください。（必須）
 5. 4. にて「その他」を選択した方は詳細をご回答ください。（必須）
 6. （駐車場使用禁止を前提とした場合）2023年4月以降について、現時点で予定する主たる通勤手段ご回答ください。（必須）
 7. 6. にて「その他」を選択した方は詳細をご回答ください。（必須）
 8. 6. にて「自家用車」を選択した方は、駐車場所についての予定をご記入ください。（必須）
 9. 本件について、問題視していることがあれば回答ください。
 10. 本件に関して、組合が理事会に要求すべきだと思うものについて選択ください。（複数選択可）
 11. 10. にて「その他」を選択した方は詳細をご記入ください。（必須）
 12. 10. で選択したうち、最も優先順位が高いと思うものを選択ください。
 13. 施設部通知によると「配慮を要する特別な事情を有する場合は駐車場利用を認めるとありますが、
「特別な事情」については具体的な記述がありません。「特別な事情」として包含すべき事柄についてお考えがあれば記入ください。
 14. その他、組合に求めることはありますか。

【1】身分を選択ください

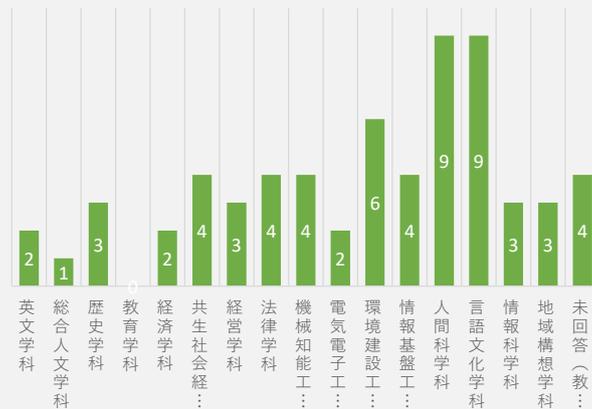
教育職員	:	63 (46%)
事務職員	:	74 (54%)
事務職員	:	137 (100%)

【3】所属（課、科）

教育職員

英文学科	:	2
総合人文学科	:	1
歴史学科	:	3
教育学科	:	0
経済学科	:	2
共生社会経済学科	:	4
経営学科	:	3
法律学科	:	4
機械知能工学科	:	4
電気電子工学科	:	2
環境建設工学科	:	6
情報基盤工学科	:	4
人間科学科	:	9
言語文化学科	:	9
情報科学科	:	3
地域構想学科	:	3
未回答（教員）	:	4
計	:	63

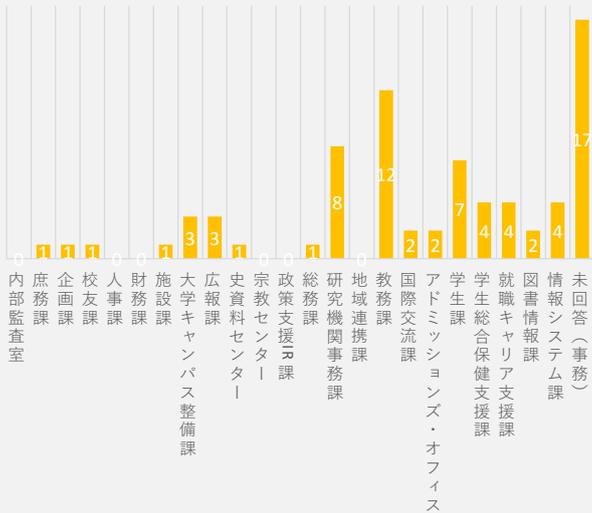
【3】所属（教員）



事務職員

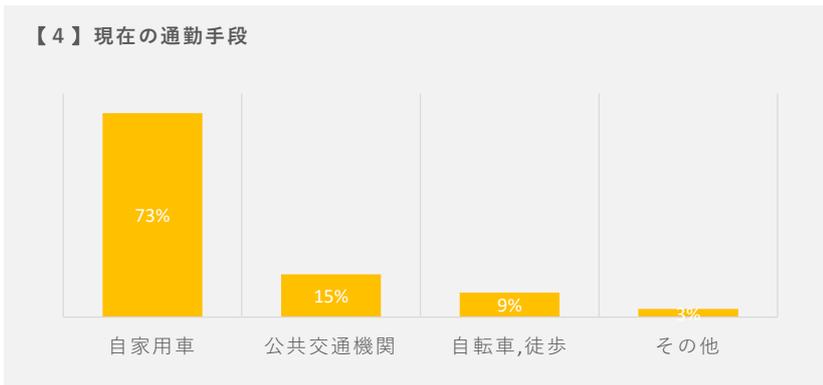
内部監査室	:	0
庶務課	:	1
企画課	:	1
校友課	:	1
人事課	:	0
財務課	:	0
施設課	:	1
大学キャンパス整備課	:	3
広報課	:	3
史資料センター	:	1
宗教センター	:	0
政策支援IR課	:	0
総務課	:	1
研究機関事務課	:	8
地域連携課	:	0
教務課	:	12
国際交流課	:	2
アドミッションズ・オフィス	:	2
学生課	:	7
学生総合保健支援課	:	4
就職キャリア支援課	:	4
図書情報課	:	2
情報システム課	:	4
未回答（事務）	:	17
計	:	74

【3】所属（事務）



【4】現在の主たる通勤手段をご回答ください。（必須）

1	自家用車	:	100	(73%)
2	公共交通機関	:	21	(15%)
3	自転車,徒歩	:	12	(9%)
4	その他	:	4	(3%)
計		:	137	(100%)

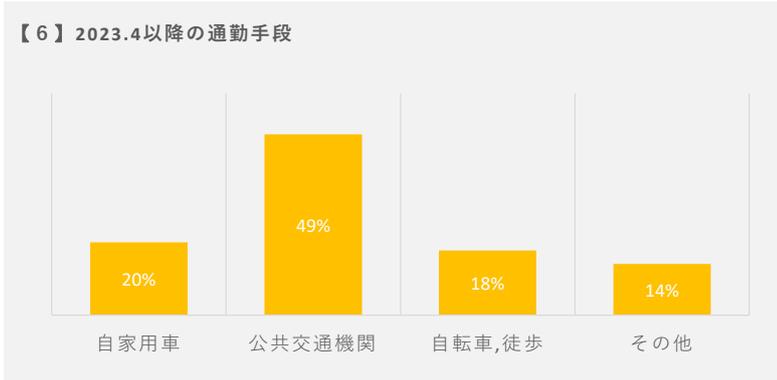


【5】4.にて「その他」を選択した方は詳細をご回答ください。（必須）

1	自家用車、公共交通機関、どちらか
2	自家用車→新幹線→地下鉄→バス
3	自家用車5割、自転車4割、公共交通機関1割
4	回答なし

【6】（駐車場使用禁止を前提とした場合）2023年4月以降について、現時点で予定する主たる通勤手段ご回答ください。（必須）

1	自家用車	:	27	(20%)
2	公共交通機関	:	67	(49%)
3	自転車,徒歩	:	24	(18%)
4	その他	:	19	(14%)
計		:	137	(100%)

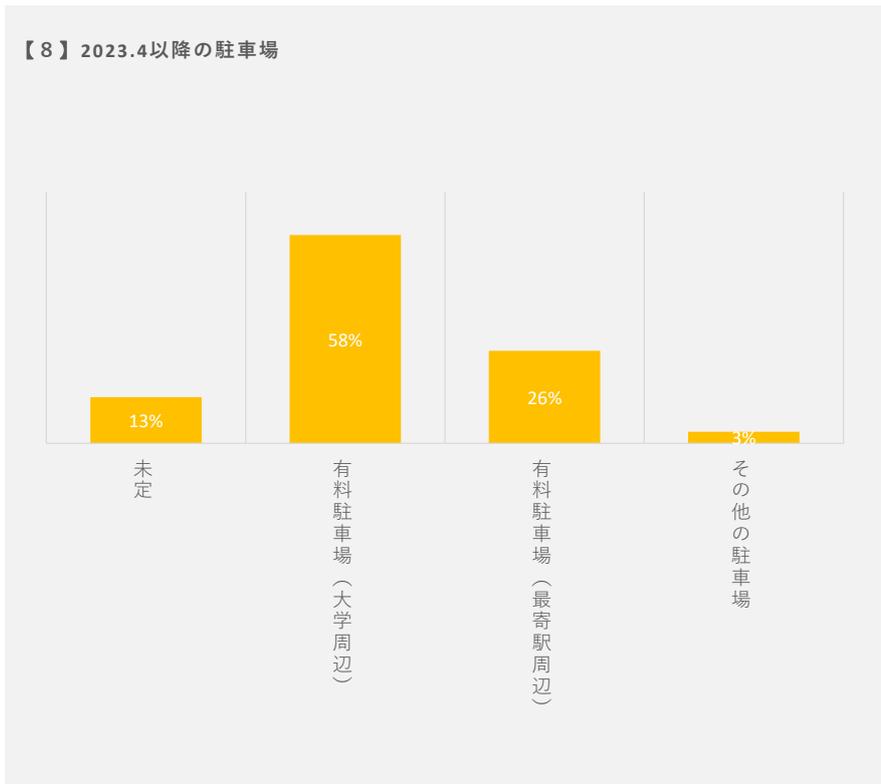


【7】6. にて「その他」を選択した方は詳細をご回答ください。（必須）

1	未定	
2	地下鉄最寄り駅近くに駐車場を借りて、そこまで自家用車（20分）。そこから地下鉄。	自家用車 + 公共交通機関
3	公共交通機関と自転車通勤が半々になるかと思っています。【6】が複数選択選択できないので、ここで記述しました。	
4	自宅から最寄り駅までが遠いので、そこまで車。そこからは公共交通機関。	自家用車 + 公共交通機関
5	最寄り駅まで自家用車、地下鉄	自家用車 + 公共交通機関
6	自宅最寄り駅まで自家用車、地下鉄で五橋駅	自家用車 + 公共交通機関
7	公共交通機関または自転車またはオートバイ	
8	車と公共交通機関を併用（最寄の公共機関駅：泉中央に駐車場を借りる）	自家用車 + 公共交通機関
9	バイク	
10	現時点では決めていない。五橋キャンパス周辺及び近郊で駐車場が契約できるか不明であり、費用が不明であるため。	
11	引っ越しを考えているため最寄り駅・もしくは職場近くの駐車場まで自家用車、あとは徒歩	自家用車 + 公共交通機関
12	自転車or自家用車（雨や雪の日）で駅→地下鉄	
13	自家用車→新幹線→徒歩（または地下鉄）	自家用車 + 公共交通機関
14	公共交通機関、自転車および自動二輪を候補に検討中	
15	未定	
16	検討中	
17	泉中央駅付近に駐車場を借り、泉中央駅より地下鉄利用	自家用車 + 公共交通機関
18	自家用車5割、自転車4割、公共交通機関1割	自家用車 + 公共交通機関
19	最寄り駅まで自家用車、その後、公共交通機関	自家用車 + 公共交通機関

【8】6. にて「自家用車」を選択した方は、駐車場所についての予定をご記入ください。（必須）

1	未定	:	4 (13%)
2	有料駐車場（大学周辺）	:	18 (58%)
3	有料駐車場（最寄駅周辺）	:	8 (26%)
4	その他の駐車場	:	1 (3%)
計		:	31 (100%)

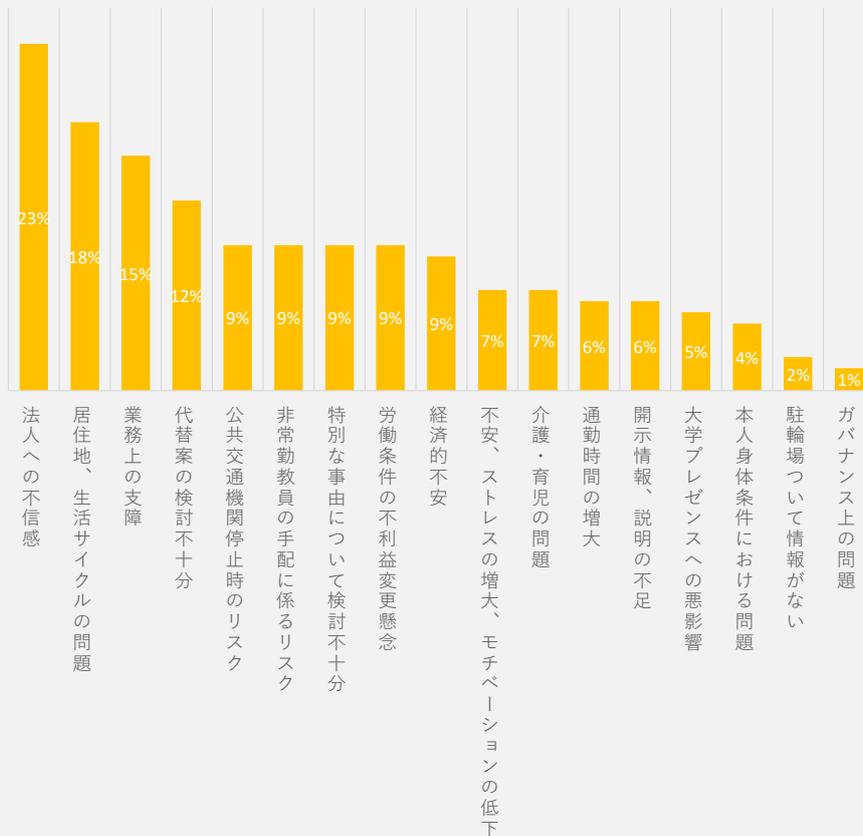


【9】本件について、問題視していることがあれば回答ください。

回答の類型・分類

1	法人への不信感（周知の遅さ、計画性の無さ）	：	31（23%）
2	居住地、生活サイクルの問題	：	24（18%）
3	業務上の支障（搬入、授業、出張、残業等）	：	21（15%）
4	代替案の検討不十分	：	17（12%）
5	公共交通機関停止時のリスク	：	13（9%）
6	非常勤教員の手配に係るリスク	：	13（9%）
7	特別な事由について検討不十分	：	13（9%）
8	労働条件の不利益変更懸念	：	13（9%）
9	経済的不安（手当の不足、新規支出）	：	12（9%）
10	不安、ストレスの増大、モチベーションの低下	：	9（7%）
11	介護・育児の問題	：	9（7%）
12	通勤時間の増大	：	8（6%）
13	開示情報、説明の不足	：	8（6%）
14	大学プレゼンスへの悪影響	：	7（5%）
15	本人身体条件における問題（感染リスク含む）	：	6（4%）
16	駐輪場について情報がない	：	3（2%）
17	ガバナンス上の問題（上長指示による車購入等）	：	2（1%）
	計	：	209（153%）

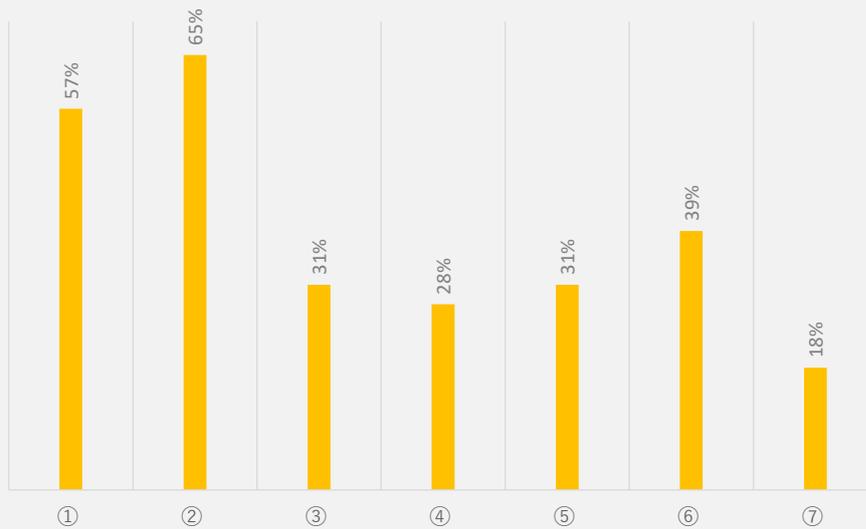
【9】問題認識の類型・分類



【10】 本件に関して、組合が理事会に要求すべきだと思うものについて選択ください。（複数選択可）

① 法人に何らかの形で必要台数分駐車場を用意するよう要求する	: 78 (57%)
② 個々の事情に応じた通勤手当の制度設計を要求する。	: 89 (65%)
③ 勤務時間の柔軟化を要求する（フレックスタイム制の導入など）	: 42 (31%)
④ 勤務形態の柔軟化を要求する（テレワークなど）	: 38 (28%)
⑤ 基本給のベースアップを要求する（土樋近隣の月極駐車場月額平均を上乗せ、など）。	: 42 (31%)
⑥ 教職員への説明会や意見を聴く場を要求する	: 53 (39%)
⑦ その他	: 25 (18%)
計	: 367 (268%)

【10】 理事会に要求すべきだと思うもの（複数選択可）



【11】 10. にて「その他」を選択した方は詳細をご記入ください。（必須）

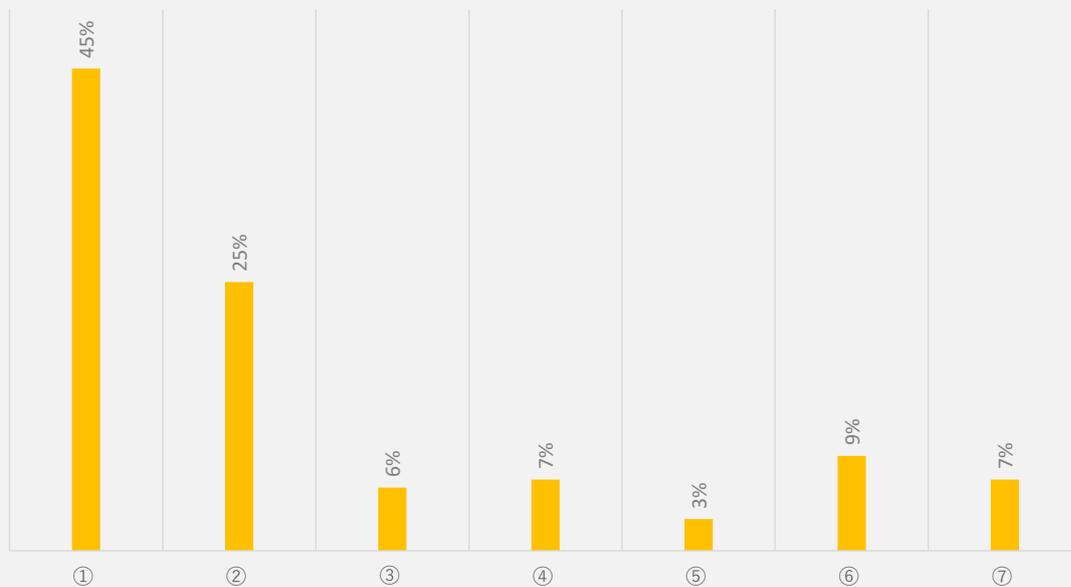
回答の類型・分類

1	業務使用の場合自家用車認可	: 4	(≒特別な事情)
2	駐車場の有料化および提供	: 4	
3	手当要求	: 3	
4	近隣有料駐車場の借り上げ、貸与	: 3	
5	勤務形態の柔軟化	: 2	
6	公用車の台数増	: 2	
7	車通勤辞退者への協力金支給	: 2	
8	環境問題目線での実践結果公表	: 1	
9	国交省による職住近接支援	: 1	
10	特別な事由の労使による精緻化	: 1	(≒特別な事情)
11	インセンティブとしての駐車場利用権	: 1	(≒特別な事情)
12	立体駐車場	: 1	
13	就業時間外は利用許可	: 1	(≒特別な事情)
14	土樋再整備後の駐車場開放	: 1	
15	感染対策の視点からの検討	: 1	(≒特別な事情)
16	引っ越す職員に時限的家賃補助	: 1	
17	タクシー券の支給	: 1	
18	駐車場管理の外部委託	: 1	
19	俸給表の見直し	: 1	

【12】 10. で選択したうち、最も優先順位が高いと思うものを選択ください。

① 法人に何らかの形で必要台数分駐車場を用意するよう要求する	: 61 (45%)
② 個々の事情に応じた通勤手当の制度設計を要求する。	: 34 (25%)
③ 勤務時間の柔軟化を要求する (フレックスタイム制の導入など)	: 8 (6%)
④ 勤務形態の柔軟化を要求する (テレワークなど)	: 9 (7%)
⑤ 基本給のベースアップを要求する (土樋近隣の月極駐車場月額平均を上乗せ、など)。	: 4 (3%)
⑥ 教職員への説明会や意見を聴く場を要求する	: 12 (9%)
⑦ その他	: 9 (7%)
計	: 137 (100%)

【12】 理事会に要求すべきだと思うもの (最優先)

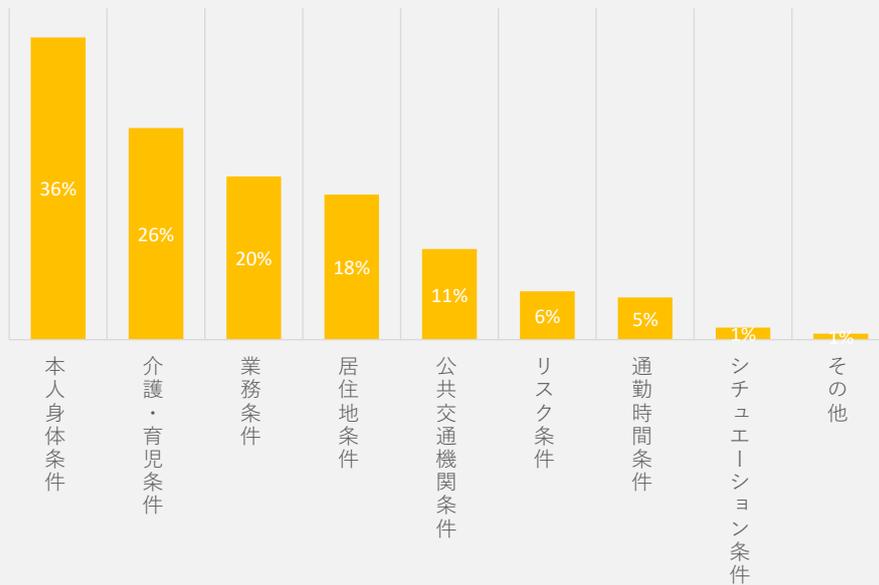


【13】施設部通知によると「配慮を要する特別な事情を有する場合」は駐車場利用を認めるとありますが、「特別な事情」については具体的な記述がありません。「特別な事情」として包含すべき事柄についてお考えがあれば記入ください。

回答の類型・分類

1	本人身体条件（感染リスク含む）	:	50	(36%)
2	介護・育児条件	:	35	(26%)
3	業務条件（搬入、授業、出張、残業等）	:	27	(20%)
4	居住地条件（勤務地や最寄り駅までの距離）	:	24	(18%)
5	公共交通機関条件（運行時間帯、本数、乗換回数等）	:	15	(11%)
6	リスク条件（天候、緊急時等）	:	8	(6%)
7	通勤時間条件（著しく増大する場合）	:	7	(5%)
8	シチュエーション条件（課外活動、休日勤務等）	:	2	(1%)
9	その他	:	1	(1%)
	計	:	169	(123%)

【13】「特別な事情」に含有すべき事項の類型・分類



- 【13】施設部通知によると「配慮を要する特別な事情を有する場合」は駐車場利用を認めるとありますが、「特別な事情」については具体的な記述がありません。「特別な事情」として包含すべき事柄についてお考えがあれば記入ください。

合わせて寄せられた意見（要旨）

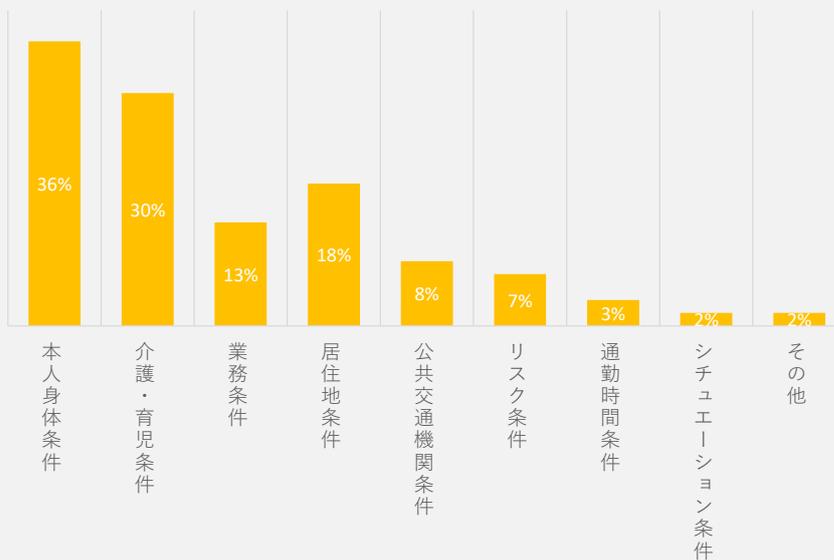
1	非常勤は許可または優先すべき。	: 8
2	希望した職員が後ろめたさを覚えないよう工夫すべき。	: 2
3	役職優遇はあってはならない。	: 2
4	恒常的に利用を許可する要件と、1日単位の申請ベースで許可する要件を分けて定義すべき。	: 2
5	車椅子利用者だけに限定すべき。不公平感を生む。	: 1
6	平時の利用基準と臨時の利用基準を別に定義すると良い。	: 1
7	理由を問うべきではない。不公平になる。近隣より学内を割高にして貸出し、それでも止めたい人は使えばいい。	: 1
8	都度都度の許可制では迅速性に欠き、意味が無い。	: 1
9	車が使えないことで時間休で済んでいたものが一日有給にせざるを得ない。	: 1
10	将来的には全員に駐車場を提供すべき。	: 1
11	明確なエビデンスベースの管理必要。	: 1

- 【13】施設部通知によると「配慮を要する特別な事情を有する場合」は駐車場利用を認めるとありますが、「特別な事情」については具体的な記述がありません。「特別な事情」として包含すべき事柄についてお考えがあれば記入ください。

設問12.にて①を選択した回答者に限定した場合

1	本人身体条件（感染リスク含む）	：	22（36%）
2	介護・育児条件	：	18（30%）
3	業務条件（搬入、授業、出張、残業等）	：	8（13%）
4	居住地条件（勤務地や最寄り駅までの距離）	：	11（18%）
5	公共交通機関条件（運行時間帯、本数、乗換回数等）	：	5（8%）
6	リスク条件（天候、緊急時等）	：	4（7%）
7	通勤時間条件（著しく増大する場合）	：	2（3%）
8	シチュエーション条件（課外活動、休日勤務等）	：	1（2%）
9	その他	：	1（2%）
	計	：	72（118%）

【13】「特別な事情」に含有すべき事項の類型・分類（設問12①選択者のみ）



【14】 その他、組合に求めることはありますか。

回答の類型・分類

1	粘り強い交渉	:	21 (49%)
2	不足情報の開示要求	:	5 (12%)
3	通勤環境、車利用の実態調査	:	3 (7%)
4	組合費の減額	:	3 (7%)
5	組合体制の見直しについて (ユニオンショップの検討含む)	:	2 (5%)
6	「特別な事情」を巡る平等性への配慮	:	2 (5%)
7	組合による駐車場提供	:	1 (2%)
8	匿名性の担保	:	1 (2%)
9	集中講義期間の勤務体制について	:	1 (2%)
10	在宅勤務の整備について	:	1 (2%)
11	勤務の服装について	:	1 (2%)
12	ペア、俸給表の改定	:	1 (2%)
13	時限的措置を主軸とした要求	:	1 (2%)
	計	:	43 (100%)

アンケートへの回答ご協力ありがとうございました